

読書のすゝめ

その11 H 29 6 / 19

県東地区生徒図書委員研修会

6月13日 会場・潮来高校

2年生3名が参加してきました。

午前の部ではそれぞれのグループに分かれて読書会を行い、午後の部で「本が読みたくなるしおり作り」をしてきました。「その10」でも触れましたが、自分の考えを伝えること、また、人の話を聞くことはこれからのみなさんに必要な作業です。

参加した3名は、同じ一冊の本を自分と参加者がどのように読んだのか、面白かったところ、共感したところなどをじっくりと話し合い、大変有意義な時間を過ごしてきました。

【感想】

☆坂本遥香さん

Aグループ 『コンビニ人間』（担当校・鹿島灘高校）

「コンビニ」での「アルバイト」店員。学生時代であれば抵抗なく受け入れられる立場ですが、「社会人」としてはどうなのか？主人公を通して現代社会が抱える問題、生きにくさなどを考えさせられました。たった一行の会話文に対しても受け取り方が違って、新鮮な話し合いができました。しおり作りも、いろいろな道具が用意されていたので楽しくできました。



潮来のあやめは満開でした！
早めに到着したので見学♪



☆山中真里奈さん

Bグループ 『とりつくしま』（担当校・鹿島高校）

短編集なので、参加した人それぞれに「お気に入り」がありました。やはり、自分が「とりつく」なら何になるか？という話題で盛り上がりました。自分とは違った視点からの意見を聞くことができ深く考えることができ、とても充実した読書会になりました。午後のしおり作りも、他校生とおしゃべりしながら楽しく作ることができました。

☆酒井二千香さん

Cグループ 『ツバキ文具店』（担当校・潮来高校）

作品のテーマにちなんで自分たちも「手紙」を書きました。最近では年賀状すら書かなくなっているのが難しく感じましたが、受け取る人を書いて書くと作業は楽しいなと思いました。下書きと清書をしたら時間が足りなくなるほど集中していました。しおり作りは、他の人のしおりを見ることができたので参考になりました。しおり作り学校でも図書委員でやってみたいと思いました。

※図書委員の研修会は例年6月に県東地区で実施されます。

また12月には中央研修会があります。今年度は12月13日（水）に県民文化センターで開催されます。本校からも3名の図書委員が参加する予定です。分科会ではビブリオバトルもあるので、出場希望の図書委員さんは申し出てください。



参加した3名の力作！

読書会の様子



午後のしおり作り